

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。愛して止まないこの中津川市立図書館のカウントダウンが始まりました。

十年前に崖から蹴落とされた虎の子たちは、悔しさ、悲しみ、様々な思いをエネルギーに変え、虎視眈々と高みを目指し、奮闘し、再び想いを集結してまいりました。

今年一年、諸先輩方の熱き想いと共に、職員一同、さらなる高みを目指し、励んで参りたいと思っております。

何卒、変わらずの愛を図書館へ降り注いでいただきますよう、お願い申し上げます。

中津川市立図書館長 小池 孝子

あらたな気持ちで

新年を迎えられたことと思います。

図書館くらぶにとってもまた、本年は新たな出発の一年になるのではないかと思います。

コロナ禍がまだ終息の見込みが立たない状況ですが、健康第一、安全第一で乗り切りましょう！

図書館くらぶ会長 桑澤 宏康



第十回図書館まつり

「中津川市立図書館（中央館）の歩み！」

図書館くらぶ展示の一部紹介

昭和三十二年十一月二十五日、図書館施設として公民館の一室に開館しました。

翌年一月、募金及び献本運動始まる。

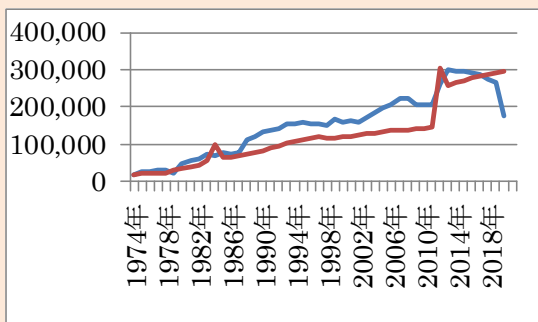
昭和三十六年四月、読書活動推進の為に読書サークル連絡協議会発足



公民館の一室に設置された図書室



公民館正面（昭和46年頃までは結婚式も行われていました）



蔵書数の推移

赤線：蔵書数（冊）

青線：貸出数（冊）



児童書コーナーのオープニング風景

昭和五十四年八月 中津川コミュニティセンター落成、一階に保健センターと図書館が併設されました。

平成六年七月旧保健センター跡が児童書コーナーとしてオープンされました。図書館面積一千四百㎡

一月企画展示

「ふるさと中津川の民話や伝説を知って伝えていきましょう！」

主な展示

- ・はだか武兵
- ・赤壁城
- ・乙姫岩伝説
- ・市内各地のウォーキングマップ
- ・中津川の昔話関連書籍など
- ・きつね膏薬
- ・濃ヶ池
- ・三匹のきつね



企画展示の為の下調べ！ Y・K

図書館の十二月と一月の展示に地元民話を取り上げることになり、その話の場所が現在どうなっているか見に行くこととなった。

まず近くの西生寺の大銀杏を見に行くと丁度美しい黄色になっていた。この銀杏にきつねがいたとは・・・。

「三匹のきつね」の話に出てくるのは銀杏のお夏、駒場の小出ノ木坂に住む小出ノ木小次郎、前山の麓の方道寺に住む方道寺どじ兵である。

今回巡ったのは大銀杏↓小出ノ木坂↓はだか武兵↓きつね膏薬の医王寺であった。これらの場所は表示もあり訪ねてよかった。

市内にはたくさんさんの民話があり「中津川のむかし話」という本にもまとめられている。まだまだ各地におもしろい言い伝えがあるがそれを知る人がいなくなった。

四十年程前に私の地域の子ども会がお年寄りから話を聞き小冊子にまとめ図書館にも残してあるが、話してくれた人たちはもう誰もいない。こうして消えてしまう話がたくさんあると思うと残念でならない。しかし活字にして残しそれを図書館で保存してあれば残っていくに違いない。

民話の里を訪ねて感じたことは、せっかく看板を立て整備してあるのだからウォーキングマップなどを作って民話の里めぐりなどPRしたらよい。普通の観光地巡りとは違った楽しみがあると思う。

☆第129回ミニゼミ

「ふるさとの民話を朗読で

十二月十一日(土)
午後一時半開催しました。

☆出演・朗読ぶぐるま・
図書館司書

☆演目

- ① 「きつねこうやく」
落合
- ② 「濃ヶ池」
坂下
- ③ 「出の小路山の大桧」
付知
- ④ 「椿屋敷」
下野
- ⑤ 「はだか武兵」茶屋坂
- ⑥ 「踊る人形」川上
- ⑦ 「きつねの寄り合い」
八幡町



図書館くらぶ員のお勧めの本

『やさしい猫』

中島 京子

読売新聞夕刊の連載小説だったので読まれた方も多いと思う。新聞や雑誌の書評でも、何度か取り上げられた。

マヤはミユキさんの娘だ。ミユキさんは若くして夫を亡くし保育士をやっている。

2012年東北へボランティアに行ったときにスリランカ人のクマさんに会う。

東京に戻ってきて偶然再会した二人は付き合うようになる。マヤもクマさんに馴染んでゆく。しかしクマさんはオーバーステイになってしまう。それから・・・

昨年三月名古屋出入局在留管理局の施設に収容されていたスリランカ人女性が亡くなった。その少し前に入管法の改正案が閣議決定されていた。

結局この法案は破棄されたが、これまであまり話題になることが無かった入管法・入管施設・難民のことがクローズアップされた。そんな時この本が出版された。

知らないことが沢山あった。こんなことが許されているかと茫然となった。

日本国民として恥ずかしいよ！

(間 裕子)

落ちこぼれ

茨木 のり子

落ちこぼれ

和菓子の名につけたいようなやさしさ

落ちこぼれ

いまは自嘲や出来そこないの謂

落ちこぼれないための

ばかばかしくも切ない修業

落ちこぼれにこそ

魅力も風合いも薫るのに

落ちこぼれの実

いっぱい包容できるのが豊かな大地

それならお前がおちこぼれる

はい 女としてはとっくに落ちこぼれ

おちこぼれずに旨げに成って

むぎむぎ食われてなるものか

落ちこぼれ

結果ではなく

落ちこぼれ

華々しい意思であれ



地域発の文芸誌の紹介

今回は三誌を紹介します。

☆「大きな木」

現在、二十二号まで出されています
年一回発行の文芸誌。小説・詩・エッセイなど掲載されています。

書くことの好きな方は、どなたでも投稿できます

☆「おんたけ」

日本ペンクラブ会員、落合在住の作家
吉村登さんの個人誌です。現在三号まで
刊行されました。

小説、エッセイなど吉村登さんの作品
を網羅しています

☆「詩なぶす」

主婦十一人がそれぞれの日常の中で感
じたこと心に残っていることを詩に表
現。

作品を持ち寄り勉強を始めて十年経っ
て、作品を発表する場として詩誌「詩な
ぶす」を創刊しました。現在二号まで。

図書館にあります。

コロナ禍での企画展示雑感 ①

令和二年度図書館くらぶ総会にて、企画展示の主要テーマは「SDGs関連」に決定された。新型コロナウイルスが感染拡大するなか6・7月「中津川市森林・林業関係」10・11月に「中津川市農業・酪農関連」を実施した。そして令和3年2月第122回ミニゼミで企業経営者から取り組みのお話をお聞きしました。

林業も農業も国土を守り国民の命を守る大切な分野で、若い人達が頑張っている姿も知ることができました。

しかし、目の前の平らな農地にアパートや大型商業施設が建ち並び、本当に持続可能な社会になるのか大変不安です。

続編として地球の温暖化を対象にした第126回ミニゼミ「私たちの地球を温暖化から守ろう」を8月に開催。温暖化の原因から一般家庭での省エネ対策まで学びました。

「とても現在の進め方ではCOP26の目標である2030年温度上昇1.5℃に抑えることは出来ない」と主張する学者・知識人も多いなか、まず私たちが出来ることは温暖化防止の意識を常に持ち、いろんな場面で努力することではないでしょうか。



コロナ禍での企画展示雑感 ②

新型コロナウイルスが感染拡大する中、8・9月には新型コロナウイルスワクチンについて企画展示しました。

私たちが日常生活で知りうる知識とかけ離れていることがらを、人体の不思議、諸機能の仕組みについてあらためて触れる機会になりました。

一方、SNS等で誤った情報が飛び交ったのも事実です。

何かを知り、わかる為には個人の経験を通じて納得するばかりでなく、その知識を他人と分かち合い、それに基づいて判断することも必要ではないでしょうか。公共図書館としての役割もここにあると考えます。



一月の公民館図書室企画展示

☆坂下図書室

「認知症について」

☆山口図書室

「国連核兵器禁止条約&新型コロナウイルスについて」

☆川上図書室

「今知って欲しい！地球温暖化と私たちのできること！」

☆福岡図書室

「家庭でできる防災対策」

☆付知図書室

「消防団の歩み」

第130回ミニゼミ

「古代エジプト文明第二弾！遺跡発掘体験四方山話」

令和4年1月22日（土）午後一時半～

中央公民館2-1学習室

講師 市文化振興課学芸員 熊崎真司さん

第131回ミニゼミ

「第九交響曲を100倍面白く聴く方法」～ベートーベンは自由の闘士であった～

令和4年2月20日（土）午後一時半～

中央公民館ホール

講師 リコーダー演奏家・音楽文化研究

古山和男さん

素敵な街には 素敵な図書館があり

元気な街には 充実した図書館あり！

図書館は0歳～100歳みんなの居場所です！

図書館くらぶ 会長 桑澤宏康

TEL (66) 0249

川上展示風景

